

「原水爆禁止2014年世界大会」

激励メッセージ

核戦争の阻止，核兵器全面禁止・廃絶，被爆者援護・連帯の3つの目標を掲げて，毎年，世界の政府と世論に，核兵器のない世界をよびかけ続けてこられ，さらに核兵器のない世界へのプロセスをさらに加速させようと「原水爆禁止2014年世界大会」に取り組まれます実行委員会の皆様と参加者の皆様に心から敬意を表します。

1945年8月6日，ヒロシマに人類史上初めて原子爆弾が投下された日から，もうすぐ69回目の夏がやってきます。原爆の惨禍から69年を経過する今も，核廃絶に向けた具体的な道筋が示されない状況にあり，世界の核保有国は核戦力の維持さらには新兵器開発による増強を進めているのが現状です。

本市は，2005年6月に世界の恒久平和と核兵器廃絶に向けた「三次市平和非核都市宣言」を

行いました。宣言を契機として、以降毎年、7月から8月にかけて、市民の皆様や次代を担う子どもたちへ平和の尊さを継承する平和祈念事業を実施してきております。

国際情勢を見る時、「核兵器が69年前、ヒロシマ・ナガサキにどんな惨禍をもたらしたのか。」いま一度、原点をしっかりと踏まえ、私たち市民一人ひとりが、恒久平和の確立に向け、平和を希求する行動が不可欠であることを改めて認識したところでございます。

こうした中、皆様が取り組まれます「原水爆禁止世界大会」への期待は年々大きく高まっています。参加・賛同される皆様、実行委員として大会を支えられる皆様、その多くの声が、まさに核廃絶と恒久平和を世界へ希求するメッセージであります。

終わりになりますが、本大会が全世界の政府とNGOの代表、日本各地の代表をはじめとする多くの参加者のもとで成功裏に終わられ、大会の目

的が果たされますよう祈念して激励のメッセージ
とさせていただきます。

2014年8月4日

三次市長 増田和俊